

(一社)日本原子力学会 若手連絡会 (YGN)

第7回 YGN若手勉強会

「原子カプラント建設の技術継承」

我が国では、原子力依存度の低減という長期的な方針を掲げる一方、3E（安定供給、環境保全、経済性）の観点から、安全性の確保を大前提に、原子力発電をエネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源と位置づけています。この方針に沿って、将来に亘って原子力を一定程度確保するためには、新規建設・リプレースの実施が不可欠となります。しかしながら、震災以降、技術継承の機会が減少し、プラント建設経験を有する熟練技術者の高齢化が進行するなど、ノウハウ・経験の喪失およびそれによる新規建設時の高コスト化等が懸念されております。

そこで、本勉強会では、**原子カプラントの建設プロセスを学ぶとともに、必要な技術を如何にして受け継いでいくか、そのために個人や組織、業界、学会全体として何をすべきか等について議論**します。本勉強会が我が国の原子力に係る技術力の維持・向上に資することを期待し、原子力に係る幅広い業種・部門から意欲ある若手の参加を歓迎します。

～ プログラム ～

1. 講演（話題提供）

「知識・技術・技能の伝承に向けた基礎理解と知識マネジメント」

日本原子力研究開発機構(JAEA) 博士研究員 樽田泰宜氏

伝承や継承の難しさ、その際に役立つ予備知識として知識マネジメントに関して考える視点等を提供する。

2. 基調講演

「原子カプラントの建設プロセス」

株式会社原子力エンジニアリング プラントサービス本部 松本正二氏

(略歴)1968年 関西電力(株)入社。大飯3,4号機の建設において、その計画、設計、建設工事等に最前線で携わる。大飯3,4号機運転開始後においても、原子力発電所の保守業務で大型改造工事を担当。原子カプラント建設の計画から運転開始後の保守まで、豊富な技術知見や現場経験を有し、現在も技術者の育成に尽力。

3. 参加者ディスカッション

※当日の内容は場合により変更となることがありますが、予めご了承下さい

【日 時】 平成 30 年 5 月 1 9 日(土) 10:30-17:30

【場 所】 大阪科学技術センター 600会議室

<http://www.ostec.or.jp/ostec-room/html/access/access.html>

【対 象】 原則として、原子力分野に従事する39歳以下の若手・学生が対象です。
(日本原子力学会の会員以外の方も参加いただけます。)

【定 員】 50名程度（応募多数の場合は、先着順とさせていただきます。）

【参加費】 無料

【ご留意事項】 YGN若手勉強会では、「チャタム・ハウス・ルール」を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同のうえ、ご参加ください。

※チャタム・ハウス・ルール

「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、発言者及びその他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。国際会合等の場で率直な議論を促すために多く用いられている。

【申し込み方法】

5月11日(金)17:00までに、電子メールにてタイトルを「第7回YGN若手勉強会参加申込み」とし、本文に(1)お名前 (2)ご所属 (3)メールアドレス (4)原子力学会会員区分(本会員/学生会員/非会員) (5)懇親会出欠^{※1} (6)交通費補助希望有無^{※2}を記載の上、以下の申し込み先へ送付ください。

→ **申し込み・お問い合わせ先**

日本原子力学会若手連絡会 幹事 後藤弘行

Email: goto.hiroyuki@e3.kepco.co.jp Tel:050-7104-1770

※1 当日勉強会終了後に、懇親会を開催します。(参加任意。会費4,000円程度)

※2 **希望者を対象に、日本原子力学会若手連絡会より交通費の一部を補助いたします。**

・若干名を対象に、先着順とさせていただきます。

・学生は実費の100%、社会人は実費の50%を限度に、一人あたり最大1万円まで。

・所属組織からの交通費支給が困難な場合に限りです。

<YGN若手勉強会>

日本原子力学会若手連絡会(YGN)は、原子力に携わる若手世代間の連携を強めることで、若手が本来持つ活力を引き出し、その専門性や能力を高める活動を行っています。「YGN 若手勉強会」は、若手の日常業務に捉われない自己研鑽や専門分野や所属を超えた繋がり創出のため、2016年10月より継続的に開催しています。

【開催実績】

第1回「もんじゅを見つめ直す」(2016年10月)

第2回「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か？」(2017年2月)

第3回「原子力の将来とイノベーション」(2017年4月)

第4回「次世代小型モジュール炉:シンプルで安全、そして経済的な選択肢」(2017年10月)

第5回「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」(2017年11月)

第6回「原子力安全と自治体行政:福井県の経験から」(2018年2月)